

# スマート自治体変革プロジェクト【BPR研修】（静岡県袋井市） 甲子園初出場

## 取組の趣（守）旨

- ・人口減少社会・コロナ禍でも持続可能な行政経営を進めるには、DXと継続的なBPRの推進が必要。
- ・全職員がBPR手法を習得するとともに、職員研修を通じた改善提案を実際の業務に組み入れていく仕組みとする。
- ・研修は、オンラインでの開催を主体に進めていく。
- ・令和2年度から5年度までの4年間でBPRを実践できる職員約100人を育成し、ICTと業務課題を組み合わせた業務改革を継続的に推進していく。



DX : Digital Transformation BPR : Business Process Re-engineering

## 創（走）意・工夫した点

- ・研修によるBPRの提案が企画に留まらず、実現可能なものから早期に実行していくほかシステム改修等が伴う提案は、別途予算措置する仕組みとした。
- ・窓口業務や施設管理など幅広い守備範囲の中から参加者をチーム編成し、共通の課題の下チームワークを発揮して提案を考案できるようにした。
- ・研修による提案のうち、代表チームは、市の幹部職員とプレゼンにより対戦する。
- ・オンラインに変更したが、参加者が主体となって研修に取り組める内容とした。
- ・Web会議アプリや共同編集ツール、ビジネスチャットなどのICTツールを活用することでオンラインでも円滑に開催でき、参加者もICTに触れる良い機会となっている。



## 取組の効（攻）果

- ・本研修で生まれたBPRを実行に移していくこと及び、研修後も担当業務の中で新たなBPRを実行していくことを狙う。
- ・4年間継続して開催し、多くの職員の人材育成と業務改革を併せて進める流れを作っていく。



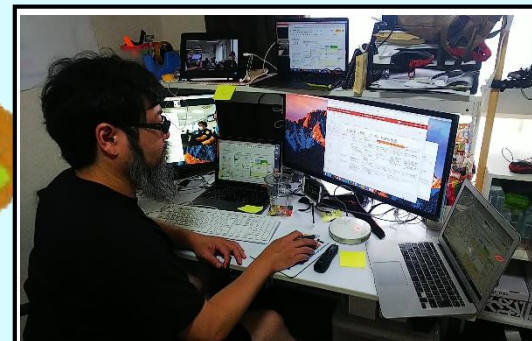
## 他団体へのコーチング

- ・オンラインを試合会場とするようコーチと考案するとともに、既存のツールを最大限活用するなどのフレキシブルな対応により、コロナ禍でも効果的に開催することができます。
- ・今後は、他自治体と協力した交流試合を進めていきたいです。



人口 88,521人 (R2.1.1現在)

担当 総務課・ICT政策課



オンラインで全6チームをそれぞれ指導するコーチ（市川博之氏）



ドラフトを見ているようなパネリストの対談